

雑誌注文カード

隔月刊

THE MOST EXCITING JAZZ MAGAZINE "JAZZ HIHYO" since 1967

# ジャズ批評

Jazz Critique Magazine



## 特集 白人テナー・サクソ奏者

クール、スイート、リラックス…

その音色とフレーズに酔いしれる、白人テナーの世界

ミュージシャン・インタビュー: 右近茂 / マーサ三宅 / 大野俊三





## テサ・スーター Tessa Souter インタビュー

前ページのニューヨークレポートでも述べた通り、テサ・スーターの昨今の評判は高く、ニューヨークでのホームグラウンドとも言える「55」をはじめアメリカだけでなく、ヨーロッパツアーも定期的に行い、内外のジャズファンを増やしている。そんな彼女がリリースしたCD「Obsession」はレビューの評価も高く、さらなる注目を集めている中、「ジャズヴォーカリストである意義」を伺ってみました。

<文中一部敬称略>

### # 自由に歌うために必要なこと

—「Living the Life」は2004年に続いてニューヨーク録音の2作目となるわけですが、これはなにかのきっかけがあったのですか？

テサ それは嬉しいことです。「Obsession」もそうですが、バンドと演奏を重ねてからレコーディングができることはとても幸せなことだと思っています。それはライブを重ねることでより私が自由に歌うことを助けてくれるからなんです。私にとっては自由に歌えることこそがジャズを歌う上でとても大事なことで、それは演奏を何度も何度も繰り返さないといけないことですから。

—その一方で、レコーディングで普段と違うミュージシャンと出会うことはまた違った魅力があると思いますか？

テサ もちろんそれとてもジャズらしいことですね。どうやってそれぞれのミュージシャンとインスピライズするかを考えて、それが私の想像を超えた結果を生み出すのはとてもエキサイティングなことです。

—今日の演奏の他に、最近よく一緒にいるミュージシャンをあげていただけますか？

テサ 今は「Obsession」で共演したBilly Drummond (ds)、Todd Reynolds (vln)、Joe La Barbera (ds)が多いですね。

—あなたの選曲は独特の基準があるように思うのですが…好きなプレイヤーや作曲家を教えてください。

テサ 好きなプレイヤーはは本当にたくさんありすぎてもっと時間があればいくらでも話したいのですが(笑)、思いついたままに上げてみますね。

まず「Nights of Key Largo」でも共演したケニー・ワーナー(p)、もちろんビル・エヴァンスも。…けど多分本当に一番好きなピアニストはケニー・バロンだと思います。彼の繊細な感性で作られた曲は完璧です。「Obsession」では彼の「Sunshower」を「Crystal Rain」というタイトルにして歌っています。

プレイヤーとしてももちろん、作曲家として大好きなのはマッコイ・タイナーもそうですね。彼の「Fly with the Wind」という曲が大好きなの。それにウェイン・ショーターのリリカルな曲はみんな

好きです。「Native Dancer」は何度聴いたか分からないほどです。

—あなたの歌を創り上げることをサポートしたような、好きな歌手や作詞家などとして考えるといかがですか？

テサ これも大変な質問ね(笑)。まず「Obsession」でも2曲歌ったミルトン・ナシメント。あとファラオ・サンダースとレオン・トーマスの2人の演奏から学んだことはとても多かったわ。けどどれだけ考えても飽きたことはないですね。

### # ジャズヴォーカリストに必要な“意志”

—ニューヨークにしているとジャズだけでなくジャンルを越えた活動をする人がたくさんいて、自分でもジャズミュージシャンであるかを重視していない人もいますが、あなたはご自分で自分をジャズミュージシャンだと思われていますか？

テサ もちろん(笑)。

—安心しました(笑)。では、他のジャンルに比べてジャズを演奏することの魅力とは何だと思えますか？

テサ 私にとっては決して同じ演奏にならないということが凄く魅力的なことですね。時間や人、もちろん聴く人が変わっても違った演奏になってしまうから退屈することがないの。ジャズであれば歌があろうとなかろうと全て違ったハーモニーや違ったアドリブを毎回作り出しているということは素晴らしいし、なによりも価値のあることだと思います。

—ジャズヴォーカリストの定義をあなたなりに考えられると、どんな歌手のことだと思いますか？



### Tessa Souter

1. Eleanor Rigby
2. Riverman
3. Obsession
4. White Floor
5. Afro Blue/Fly with the Wind
6. Make This

Tessa Souter  
Meehan (Dr)  
Ansel Matthe

※このCDのお問い合わせは  
<http://motema.com/artist/tessa-souter>まで





## Tessa Souter インタビュー

テサ もちろんそれとてもジャズらしいことですね。どうやってそれぞれのミュージシャンとインプロバイズするかを考えて、それが私の想像を超えた結果を生み出すのはとてもエキサイティングなことです。

—今日の演奏の他に、最近よく一緒にいるミュージシャンをあげていただけますか？

テサ 今は「Obsession」で共演したBilly Drummond (ds)、Todd Reynolds (vln)、Joe La Barbera (ds)が多いですね。

—あなたの選曲は独特の基準があるように思うのですが…好きなプレイヤーや作曲家を教えてください。

テサ 好きなプレイヤーは本当にたくさんありすぎてもっと時間があればいくらでも話したいのですが(笑)、思いついたままに上げてみますね。

まず「Nights of Key Largo」でも共演したケニー・ワーナー(p)、もちろんビル・エヴァンスも…けど多分本当に一番好きなピアニストはケニー・バロンだと思います。彼の繊細な感性で作られた曲は完璧です。「Obsession」では彼の「Sunshower」を「Crystal Rain」というタイトルにして歌っています。

プレイヤーとしてももちろん、作曲家として大好きなのはマッコイ・タイナーもそうですね。彼の「Fly with the Wind」という曲が大好きなの。それにウェイン・ショーターのリリカルな曲はみんな

好きです。「Native Dancer」は何度聴いたか分からないほどです。

—あなたの歌を創り上げることをサポートしたような、好きな歌手や作詞家などとして考えるといかがですか？

テサ これも大変な質問ね(笑)。まず「Obsession」でも2曲歌ったミルトン・ナシメント。あとファラオ・サンダースとレオン・トーマスの2人の演奏から学んだことはとても多かったわ。けどどれだけ考えても飽きたことはないですね。

### # ジャズヴォーカリストに必要な“意志”

—ニューヨークにいとジャズだけでなくジャンルを越えた活動をする人がたくさんいて、自分でもジャズミュージシャンであるかを重視していない人もいますが、あなたはご自分で自分をジャズミュージシャンだと思われていますか？

テサ もちろん(笑)。

—安心しました(笑)。では、他のジャンルに比べてジャズを演奏することの魅力とは何だと思いますか？

テサ 私にとっては決して同じ演奏にならないということが凄く魅力的なことですね。時間や人、もちろん聴く人が変わっても違った演奏になってしまうから退屈することがないの。ジャズであれば歌があろうとなかろうと全て違ったハーモニーや違ったアドリブを毎回作り出しているということは素晴らしいし、なによりも価値のあることだと思います。

—ジャズヴォーカリストの定義をあなたなりに考えられると、どんな歌手のことだと思いますか？

テサ まずジャズヴォーカリストでない歌手は元々ある言葉をどう表現するかということがとても大事なことですよね。それはジャズヴォーカリストに比べるとほんの少し“自由”さを束縛されているように思います。もちろんそれも素晴らしいことだと思います。

私にとってはまず大事なことは“意志”ですね。その時ごとに自分が感じたことを歌に託してできるだけ表現しようと思う意志を持っている人です。

そういう意志のあるジャズヴォーカリストが歌う時は毎回感じ方も違うし、歌い方も違うかもしれない。そんなふうに戻るとも難しいことをしているし、それを表現するためにたくさんの練習や勉強をしている人、と言えるのではないのでしょうか。私にはそれはとても価値あることだと思います。

CDジャケットなどから見ているとちょっと話しかけにくい雰囲気の方かと思いきや、とてもフレンドリーにファンに接する姿勢が印象的だった。歌を歌いだすとその表現の力強さに圧倒される。ヴォーカリストにとって歌いたい気持ちは共通していても、毎回変えたり変わることを無意識に恐れることも共感できることだ。しかし変えることを恐れない彼女の、その根源が意志、簡単に言うと“気合い”というのはとても嬉しい発言だった。彼女の言葉はジャズを歌い始めた10代の少女のように新鮮に響き、それなのに大人の感情をも表現する。CDで彼女の意志をぜひお聴きください。

聞き手<太田“AHHAH”雅文>



※このCDのお問い合わせは  
<http://molema.com/artist/tessa-souter>まで

### Tessa Souter / Obsession

- |                                |                                    |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. Eleanor Rigby               | 7. Crystal Rain (Sunshower)        |
| 2. Riverman                    | 8. Empty Faces (Vera Cruz)         |
| 3. Obsession                   | 9. Now and Then                    |
| 4. White Room                  | 10. Nora's Song (Little Sunflower) |
| 5. Afro Blue/Footprints        | 11. Love Theme from Spartacus      |
| 6. Make This City Ours Tonight | 12. Usha's Wedding                 |

Tessa Souter (Vo), Jason Ennis (G), Gary Wang (B), Conor Meehan (Dr), Victor Prieto (Accor), Todd Reynolds (Vln), Ansel Matthews (Vo)